

飯山市美術館運営協議会 会議録

- 開催日 平成31年2月22日(金) 15時35分～17時00分
○開催場所 飯山市公民館101会議室
○参集者 吉越隆師会長 千坂経悦会長職務代理 上海一徳委員 高山顕光委員
廣靖彦委員 森崎鉄兵委員 堀川とし枝委員 ※欠席者1名
長瀬哲(教育長) 栗原良満(美術館長) 井端伸介(美術館係長) 小林隆子(美術館職員)

1 開 会

2 あいさつ

会 長： 今年最後の審議会です。十分にご審議をお願いします。また、事務局から新年度の事業について提案があると思いますので、こちらも十分にご審議をお願いします。

教育長： 今年度開催した米林雄一展は見たことのないような彫刻ばかりでしたが、大変感銘を受けました。そして新年度、飯山市出身の絵の先生の企画を予定していますので、ご審議をお願いします。

3 協議事項 ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

(1) 平成30年度事業について(報告)

●企画展「米林雄一展」関係

委 員： 米林展は、市内と市外のどちらからの入館者が多かったかわかりますか。

事務局： はっきりとわかりませんが、市外からが多かったと思います。

委 員： 展覧会を観たがすばらしかった。せっかくあれだけの作品を展示出来たのだから、県外にピーアールしたほうが良いと思いました。

入館者数に繋がらなくても、もっと何度か積み重ねていくことによって浸透していくものだと思います。

(2) 平成30年度事業計画(案)について

●企画展「(仮称)木原正徳展」について

委 員： 予定されている木原正徳展は、過去10年間の作品が展示されるということで楽しみにしています。ただ、以前開催した展覧会の入館者数が少ないのですが、その理由が気になります。

事務局： 期間が少しだけ短かったということもありますが、彫刻でも絵画でも抽象的な作品はなかなか人が集まりにくいのだと思います。

委 員： 是非、大勢の方に見てもらえるようにお願いします。

●五郷研修館の活用について

委 員： 五郷研修館はどのような状況ですか。

事務局： 老朽化がかなり進んでいますが、美術館やふるさと館の備品、市役所の書類が保管されているので、解体等の時期などは見通せない状況です。美術館の近くに保管できる場所を確保できれば、もっと収蔵作品を増やすことも可能だと考えています。

●ギャラリー展等について

委員： 方針として、「施設の有効活用・活性化を図る」とありますが、どんな作品でも良いというわけではないと思うので、ある程度のレベルが必要ということでしたか。

事務局： 美術館の企画に位置付けて開催するので確かにそうですが、ご相談いただいて、調整する中で開催できる方向に持っていくようにしたいと考えています。

(3) 2020年度以降の企画展(案)について

教育長： 飯山出身の滝沢天友という日本彫刻会の創立メンバーだった彫刻家があります。この滝沢天友と飯山仏壇の仏師たちに光をあてた展覧会を来年の美術館のメインイベントとして是非開催してほしいと思っています。

飯山上町の寺瀬きすけの大黒天などそういうものが市内にいくつかあります。飯山仏壇がいかに優秀であるかと結びつけながら、特別企画展として開催してほしい。作品所蔵者の情報なども今まとめておかないとわからなくなると思います。

事務局： 2020年度には正受老人三百年遠諱記念の展示がありますが、飯山独自で開催するうえでは、美術館のロビーとギャラリーを会場として開催する可能性があるのですが、それはそれで大変ですし、正受老人と一緒に開催することが良いかどうかということもありますが、展示室で飯山の仏師の展覧会を同時開催できないかと思っています。

教育長： 正受老人は飯山仏壇のために京都を紹介したという伝承もあります。

会長： 前向きに検討してほしいです。

教育長： 是非、一緒に開催したらどうかと思います。

委員： 若い人たちに向けた展覧会をできないかと。いろいろなところで公募展をやって地域を発信していました。そういうものが今はなくなってきています。若い人がそういうところに作品を出して足がかりとしながら世に出ていくと。

事務局： 公募展は大変な費用がかかるので、なかなか難しいとは思いますが。

(4) その他

事務局： 運営協議会委員として2年間お努めいただき、ありがとうございました。今年3月末をもって任期が終了します。また、委員の推薦等をお願いすると思いますので、その節はよろしく申し上げます。

4 閉 会